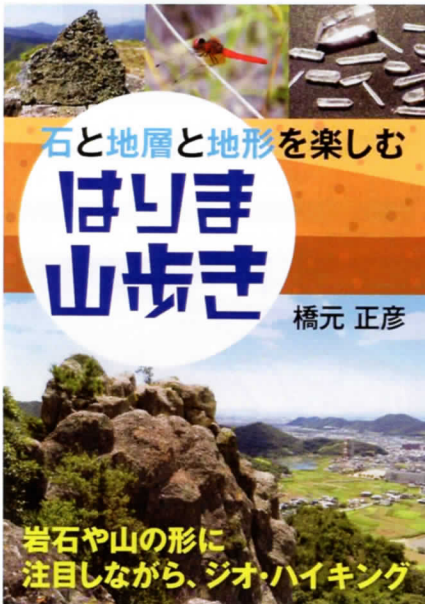


## 《本の紹介》

## 『石と地層と地形を楽しむ はりま山歩き』

橋元正彦著 発行：神戸新聞総合出版センター 2021年11月  
A判, 127総頁(総天然色), 定価1980円(税込), ISBN-9784343011336



益富地学会館が認定する鉱物鑑定士のおひとりである、橋元正彦氏が本を出版されました。橋元氏は『兵庫の山々 山頂の岩石』\*というウェブサイトを経営して20年以上運営し、地域の地質を紹介してきた方です。写真のスケールとして写っているハンマーやクリノメーターなどの本格的な道具を見ると、本を通して感じられる彼の確かな地質学の知識もなるほどと思わせます。

タイトルにある「はりま」とは兵庫県西南部の播磨地域のことで、姫路市を中心にしたかつての播磨国に属した地域を指します。この本では播磨地域から27の観察コースが紹介されています。一部は橋元氏が運営していたウェブサイトにも掲載されたものとのことですが、書籍にするにあたって情報をアップデートするためにすべてご自身で歩きおしたということです。一般的な山歩きの本では、風景や植物などの写真が多く使われますが、この本では

露頭の写真が中心です。その写真ひとつひとつからは露頭の情報を伝えようと地層や岩石の組織をこだわって撮影されているのがわかります。また、岩石の割れ方や地形などの大きな構造についても注意して観察し撮影されています。20年以上地域の地質について発信してきた橋元氏のノウハウが詰まっているのでしょね。

本書の扱っている地域は播磨のみですが、付加体の形成から白亜紀のカルデラ噴火、新生代の河川や湖などによる堆積層の形成などといったストーリーは、西日本の内帯(中央構造線より北)ではよく共通するものです。ですから播磨の地質をよく知ることで、西日本の地質についてもある程度おさらいできてしまうのです。

主に兵庫県の書店での販売とのことですが、県外の方が読まれてもためになる知識がたくさんあります。会館でも取り扱いますので、ぜひこの機会に手にとってください。

(朝倉顯爾)

◆この書籍を益富地学会館で販売しています。通信販売にも対応します。

メール、FAX、お電話などご注文ください。送料別途(100円)です。

\*橋元正彦 兵庫の山々 山頂の岩石 <http://www2u.biglobe.ne.jp/~HASSHI/yama.htm>